

地球科学分野論文

No.	筆頭	査読	共著者	題目	発行/発表	発行所又は発表雑誌名等発表機関名、ページ	概要	備考
1		○	五日市盆地団体研究グループ	鮮新-更新統の五日市砂礫層基底にみられる不整合の意義	1981年3月	地質学論集, 20, 177-185	五日市盆地の鮮新統と基盤の関係	
2		○	五日市盆地団体研究グループ	関東山地五日市盆地の新第三系	1981年7月	地球科学, 35, 183-197	五日市盆地新第三系の層序と構造の新解釈	
3		○	五日市盆地団体研究グループ	五日市盆地中期中新世の化石クモヒトデ	1983年7月	地球科学, 37, 219-224	国内では珍しい化石クモヒトデの記載	
4	○			M. Haruna, H. Ueno, and H. Ohmoto (1990) Development of skarn-type ores at the Tengumori Copper Deposit of the Kamaishi Mine, Iwate Prefecture, Northeastern Japan についての討論	1991年7月	鉱山地質, 41, 243-247	釜石鉱山天狗森鉄床産スカルン鉱物組み合わせについての解釈を討論	
5	○	○	今井直哉	釜石鉱山産グラウンドイト系ザクロ石のラメラ組織について	1994年6月	岩石鉱物鉄床学会誌, 89, 227-232	グラウンドイト系ざくろ石の微細構造の記載	
6	○	○		北薩地域浅熱水性金銀鉱床はカルデラに伴って形成されたか	1995年9月	資源地質, 45 (5), 313-321	南九州の浅熱水性金銀床形成モデルの提案	資源地質学会研究奨励賞
7	○	○		Electron microprobe analyses of rock-forming minerals in the Sanbagawa metamorphic rocks from the Ayukawa-Sanbagawa Area, Kanto Mountains, Central Japan.	1997年6月	Bull. Natn. Sci. Mus., Tokyo Ser. c, 23, 1-25	関東山地三波川変成岩類の変成鉱物についての分析値	
8	○			関東山北縁部の中央構造線に伴う熱水変質	1997年12月	成蹊論叢, 150-158	関東山地三波川帯北縁の熱水性鉱物の記載	
9	○	○		関東山地三波川変成岩類の「層状体の構造的累積による地質構造」の再検討	1998年11月	地質学雑誌, 104(11), 731-746	関東山地三波川変成岩類のShuffled Card Structureの検討と四国地域との比較変成帯論	
10		○	阿部龍巳, 高木秀雄, 島田耕史, 木村慎二, 池山恵介	関東山地三波川変成岩類の延性せん断変形	2001年5月	地質学雑誌, 107(5), 337-353.	関東山地三波川変成岩類の変形構造の検討	
11	○	○		関東山地三波川変成岩中のMnに富んだ鉱物組み合わせについて	2001年8月	岩石鉱物科学, 30, 117-125	関東山地三波川変成岩類中の石英片岩にみられる特異な鉱物組成の記載	
12	○	○	Tetsumaru Itaya	K-Ar age and chemistry of phengite from the Sanbagawa schists in the Kanto Mountains, Central Japan, and their implication for exhumation tectonics	2002年10月	Gondwana Res.5, 837-848	関東山地三波川変成岩類の高精度K-Ar年代測定結果と変成帯上昇メカニズムへの制約	
13		○	成蹊高校天文気象部, 佐伯和人	高校生による月面分光地質学	2004年5月	地質学雑誌, 110, 口絵IX-X	学校天文台の望遠鏡を用いた月面元素マップの作成	
14		○	Tsutsumi, Y., A., Terada, K. and Hidaka, H.	SHRIMP U-Pb dating of detrital zircons from the Sanbagawa Belt, Kanto Mountains, Japan: need to revise the framework of the belt.	2009年1月	Journal of Mineralogical and Petrological Sciences, 104, 12-24.	関東山地三波川変成岩類のジルコン年代学. 原岩が四万十帯相当であることを立証	日本鉱物学会論文賞
15		○	磯崎行雄, 丸山茂徳, 青木一勝, 中間隆光, 大藤茂	日本列島の地体構造区分再訪 -太平洋型(都城型)造山構成單元および境界の分類・定義-	2010年12月	地学雑誌119, 999-1053	日本列島の地体構造区分を水平構造を重視して再定義する	
16		○	新井宏嘉, 田辺克幸, 村田 守	群馬県下仁田地域に分布する御荷鋳緑色ガン類中のひすい輝石とその岩石鉱物学的特徴	2011年11月	岩石鉱物科学, 40, 177-194	御荷鋳緑色岩中のひすい輝石岩のNa交代作用による成因論の提唱	

17		○	Tsutsumi Y., Miyashita A, Horie K, and Shiraishi K.	Existence of multiple units with different accretionary and metamorphic ages in the Sanbagawa Belt, Sakuma.Tenryu area, central Japan	2012年9 月	Island Arc., 21, 4, 317- 326.	天竜地域三波川変成岩類砂質岩中 のジルコンU-Pb年代により、堆積 時が異なるユニットに分割でき る。
18	○	○		ドリップテクトニクス	2014年	地球科学, 68, 121-126	10億年以前の地球ではプレート・ テクトニクスは働いておらず別の 形だったという説の紹介
19	○	○		New finding of paragonite-clinozoisite association in garnet from the type locality of Sanbagawa belt (Kanto Mountains, Japan)	2015年	Journal of Mineralogical and Petrological Sciences 110, 71-75	関東山地三波川変成岩類で、昇温 時にローソン石が安定で、従来よ り高圧条件であったことを示し た。
20							